

2011年3月期(2010年度)業績予想修正発表における質疑応答

質疑応答

- : 質問
- : NECの回答

通期業績予想について

- 業績修正を行った背景を教えてください。
→ それぞれの事業において、当初の事業計画を達成するために全力を挙げておりますが、目標の達成が難しい状況になったため、今回の修正に踏み切りました。
- 配当の見通しを教えてください。
→ 配当の実施については現時点では申しあげられず、未定を継続させていただきます。もちろん、配当は株主様にとって重要な問題と認識しております。
- ITサービス事業の状況をもう少し教えてください。
→ 国内のお客様のIT投資が想定よりも回復してこなかったため、公共や流通業のお客様に対する売上が低迷しました。また、今回、複数の赤字プロジェクトが発生しましたが、来年度はこうした不採算案件を削減する取り組みを一層強化してまいります。
- 携帯電話機事業の損益は通期でどのくらいでしょうか。
→ パーソナルソリューション事業は営業損益を160億円からゼロに修正し、160億円悪化となりました。そのうち2/3は携帯電話機事業の悪化であり、通期では赤字を想定しています。スマートフォンへの対応が遅れたことが大きな要因です。
- 中東、アフリカにおける政情不安がパソリンク事業に与える影響はありますか。
→ 当該地域における売上はそれほど大きくないため、業績への影響はほとんどありません。

来年度以降の計画について

- 来年度の見通しを教えてください。
→ キャリアネットワーク事業については、データ通信量の増加を背景とし、お客様の設備投資が必ず増えてくると予想しております。また、海外事業についても、2つの大きなプロジェクトが動き出した海洋システムや、今年度新製品を発表したパソリンクも収益の拡大が期待できます。

- また、パーソナルソリューション事業については、3月に、7.7mm の薄さを武器にしたスマートフォンを発売いたします。ITサービス事業についても、お客様が景気回復の確からしさを実感でき、円高の不安感がなくなれば投資も回復してくると思っておりますので、NECの強みを活かしながら業績改善に向けて全力を尽くしてまいります。

以 上